



日本妊娠高血圧学会認定

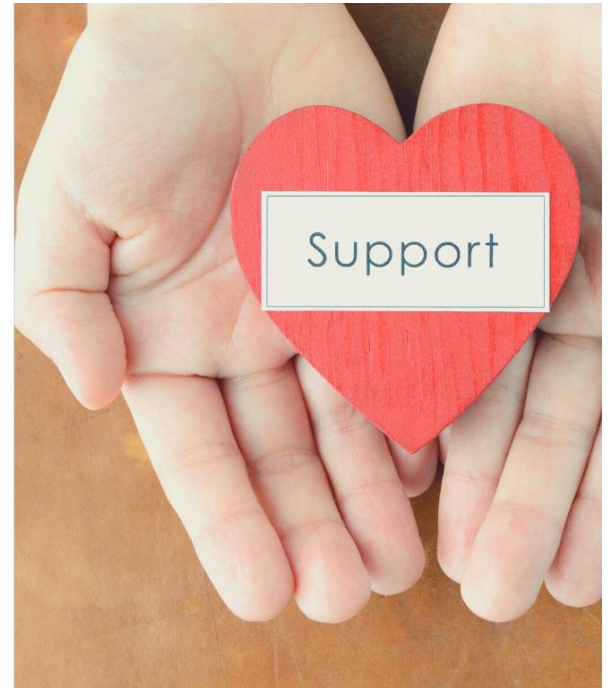
妊娠高血圧 ヘルスケア プロバイダー



より多くの医療者が
妊娠高血圧症候群の
女性と家族を支える
社会を目指して

ビジョン

より多くの職種の医療者が、多角的かつ包括的に妊娠高血圧症候群に罹患した女性と、その家族を支える社会を目指します。



ミッション

日本妊娠高血圧学会は、妊娠高血圧症候群に関する知識に習熟し、妊娠前、妊娠中、および出産後にチーム医療による専門的なケアを実践することで女性の健康維持に貢献する人材の養成を目的に、妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー制度を開始します。



申請資格

対象は看護師、助産師、薬剤師、心理士、栄養士、保健師を含むすべての医療者で、所定の講習を聴講することで妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダーと認定されます。本資格は医師も取得可能であり、専門診療科は問いません。

■妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー講習

1. 妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー制度の意義と役割
2. 妊娠高血圧症候群 総論①
3. 妊娠高血圧症候群 総論②
4. 高血圧 総論
5. プレコンセプション/インターコンセプションケア
6. 妊娠高血圧症候群に関連する薬剤
7. 妊娠高血圧症候群と新生児
8. 周産期メンタルヘルス
9. 妊娠高血圧症候群 栄養管理
10. 妊娠高血圧症候群既往のある女性の予後

